

ボランティアフォローアップ講座

# 災害とボランティア

～私たちにできること～

昨年3月11日に東日本大震災が起きました。被災地の状況を知って、“何かしたい”と思った方は多かったのではないのでしょうか。けれども、実際に被災地に行くことが出来る方はそう多くはありません。

この講座では、茅ヶ崎市社会福祉協議会から実際に現地に派遣された職員の報告と、阪神淡路大震災以降、国内外の災害復興支援に携わってこられた大江浩さんをお招きします。人と人が支え合うとはどういうことか、また私たちにできることはどんなことなのか・・・？さまざまな経験をされてきた中からの、貴重なお話をうかがいます。



**入場無料**

日時 2012年**3月22日(木)** 14時～16時

会場 **さがみ農協ビル 5階** (茅ヶ崎市新栄町 13-44)

内容 **報告** 「茅ヶ崎市社会福祉協議会が行った 東日本大震災の支援活動について」

担当：藤尾 直史 (茅ヶ崎市社会福祉協議会)

**講演** 「災害とボランティア～私たちにできること～」

講師：大江 浩氏 (日本キリスト教海外医療協力会 総主事)

定員 100名 (先着順)

**申込方法は裏面です**

**お申し込みは2月1日(水)より電話、FAX、E-mailで!**

電話 (0467) **85-9650**

FAX (0467) **85-9651**

E-mail **vc@shakyo-chigasaki.or.jp**



今すぐケータイから  
お申し込みを!

主催：社会福祉法人 茅ヶ崎市社会福祉協議会 (ボランティアセンター)

## 講師 大江浩さんプロフィール (タウンニュース記事等より抜粋)



(財) YMC A 在職 (神戸 22 年・横浜 4 年、計 26 年) を経て、06 年 4 月より (公益社団) 日本キリスト教海外医療協力会 (J O C S) 総主事に就任。

1995 年の阪神大震災以降、主な国内外の災害復興支援 (被災者及び難民支援) 活動に従事。国外：トルコ・台湾・インド・ベトナム・エルサルバドル・アフガニスタン・スリランカ・インドネシアなど。国内：有珠山噴火災害・新潟中越地震・東日本大震災など。

J O C S では、開発途上国における保健医療協力を行っている。

\* 主な役職：日本 YMC A 同盟国際協力委員、青年海外協力隊技術専門委員、大阪大学非常勤講師 (教養センター)、国際ボランティア学会理事、東京消防庁災害ボランティア講座講師 ほか

\* 1995 年 1 月に発生した「阪神・淡路大震災」、大江さんは当時勤務していた YMC A で、被災者でありながら地域の支援を行いました。また、震災から 2 年後の神戸連続児童殺傷事件は、自治会長を務めていた地域で発生しました。震災や事件の後、様々な支援活動をしていく中で「泣く者と共に泣き、喜ぶ者と共に喜ぶ」大切さを学び、そういった人の思いや存在が、家族や地域のライフラインになっていくと感じているそうです。



茅ヶ崎市内での募金活動



南三陸町でのボランティア活動



釜石市災害ボランティアセンター

### \* 会場 \*

茅ヶ崎市新栄町 13-44  
さがみ農協ビル 5 階大会議室

### \* 参加費 \*

無料

### \* 定員 \*

申し込み先着順 100 名

### \* 申し込み方法 \*

電話、FAX、E-mail のいずれかにて

①名前 (ふりがな) ②年齢 ③電話番号  
をお知らせください。

### \* 主催・申し込み先 \*

社会福祉法人 茅ヶ崎市社会福祉協議会  
(ボランティアセンター)

住所：茅ヶ崎市新栄町 13-44

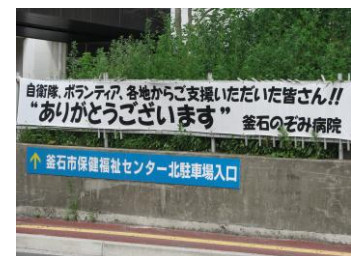
さがみ農協ビル 2 階

(8:30~17:15 土・日・祝日休み)

電話 : 0467 (85) 9650

FAX : 0467 (85) 9651

E-mail: vc@shakyo-chigasaki. or. jp



## 《会場案内図》

